

<b>1 学校教育目標</b>	
人権尊重の精神を基調とし、主体的に学び、広い視野と深い知識を身に付け、思いやりの心と郷土愛により社会に貢献し、規範意識をもち、心身ともに健康で、たくましく生き抜く、次代を担う生徒の育成を目指す。 教育指針 「学ぶ 鍛える 思いやる」	
<b>2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像</b>	
○学校像	生徒の学ぶ意欲の伸長、学力の向上、社会性の育成を図ることができる学校 地域・保護者に信頼され、力を合わせて生徒を育成する学校 組織で課題解決にあたる学校
○児童・生徒像	向上心をもって粘り強く努力し続ける生徒 他を思いやる豊かな心をもつ生徒 「あじみこし」が身に付いた社会性のある生徒
○教師像	生徒の個性を理解し、よさを伸ばそうと創意・工夫する教師 謙虚に自己研鑽に励み、指導力を発揮する教師 組織の一員として教育活動に取り組む教師
<b>3 学校の現状及び前年度の成果と課題</b>	
1 学校の現状	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 全校で放課後補充教室に取り組み、小グループを事前に組んだ体制でのリトルティーチャー制やAIドリルを活用し、基礎学力の定着に努めている。</li> <li>(2) 自校作成の家庭学習ノートを活用して、家庭学習に取り組む習慣を身に付けさせることができた。</li> <li>(3) 学校行事や生徒会活動・委員会活動・月1回のボランティアによる地域清掃等には積極的に取り組んでいる。</li> <li>(4) 地域行事とおして、地域の町会や自治会・小学校との連携が定着している。</li> </ul>	
2 前年度の成果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 全校体制での放課後補充教室の実施により、基礎学力の定着につながった。一部は、事前に組んだ小グループで、生徒どうしの学び合いの場とした。</li> <li>(2) 家庭学習ノートの継続によって、基礎学力や家庭学習の習慣が定着した。</li> <li>(3) 中1勉強合宿（通所型）に、小学校教員が毎日2名ついてくれる等の小中連携ができた。</li> <li>(4) 引率などをPTAと連携し、2町会・2自治会のお祭りやチャイルドタウンフェスティバル、子どものハッピーイベント等にボランティア生徒を募り、少数ではあったが、関わることができた。地域の方よりあいさつを褒めていただいた。</li> <li>(5) 学校のきまりについて、生徒と教員が何度も話し合う機会を設け、きまりを改定できた。</li> </ul>	
3 前年度の課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業で振り返りを行うことは定着しているが、ICTの活用や振り返りの内容項目について課題が残る。</li> <li>(2) 家庭学習ノートについては、教科との連携を意識し、基礎学力の定着と筆記による出力の確認として活用していく。</li> <li>(3) 放課後補充教室については、小グループでのリトルティーチャー制を定着させ、学び合いによって、学力の定着や自己有用感を強固にする。</li> <li>(4) キャリア教育の充実を図り、生徒一人ひとりの夢や理想をはっきりさせる手助けを行い、夢や理想につながる目標をもって学習に取り組ませる。三者面談の最後に将来の夢や目標について、意図的に取り上げ、話を締めくくることが実践する。</li> <li>(5) あいさつは地域の方からよい評価をいただいた。わきまえた礼儀作法等をさらに指導する。</li> <li>(6) 地域や家庭、関係教育機関との円滑な連携により、健全育成をさらに推進する。</li> </ul>	

4 重点的な取組事項									
	内 容	実施期間（年度） R:令和							
		R6	R7	R8	R9	R10			
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎			
2	小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践	◎	◎	◎	◎	◎			
3	生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進	○	○	○	○	○			
5 令和7年度の重点目標									
重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題			達成度 ◎○△●		
全教科において足立スタンダードに基づいた活用型授業を展開することで、主体的に学び、深く考え、表現することができる。		R8区学力調査達成率 65% 到達度確認テスト(1月) 正答率 65%							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
継続	授業改善	全教科	年間	①管理職による授業観察 ②小中連携による教科ごとの研究授業 1回 ③江北ブロック合同研修会 1回 ④区中研教科部会への参加 ⑤学力定着推進員と管理職による授業観察  国語、数学、英語科教員・教科指導専門員による指導	①自己申告面談にて授業の講評を行う ②教科ごとに成果発表 ③自教科の授業を参観し、協議会に参加する ④教科部会で得た情報を基に授業の改善を行う ⑤授業観察後の協議会  専門員との振り返り	①全教員年2回 ②全教員年1回 ③全教員参加 ④全教科部会参加 ⑤対象教員年1回  教科ごとに決められた回数			

継続	朝読書	全生徒 国語	毎日 朝 10 分	国語科及び担任 ・毎朝 10 分間読書に取り組みませる。 ・語彙を増やすための読書記録	読書冊数	1 人 10 冊以上 語彙力を高める	4~6 月 年度末 R6 4.4 14.8 R7 5.8 □ R8 □ (単位：冊)		
継続	放課後 補充教室	全生徒 英・数中心 に 5 教科	毎日 放課後 15 分	全教員 ・リトルティーチャー制の導入 ・AI ドリルの活用	到達度確認 テスト(1 月)	正答率 65%	正答率 □%		
継続	スモール ステップ テスト	全生徒	年間 単元終了 時	5 教科担当 家庭学習とも関連付け 復習プリント等を与え テストに取り組みませる。	スモールステ ップテスト	単元終了時に 5 教科で実施			
継続	コンテスト	全生徒	年 3 回	全教員 ・国語 7 月 英語 12 月 数学 2 月	プレテストを 実施してから コンテスト	合格点 80 点とし 合格率 80%以上	合格率□%  国語 □% 英語 □% 数学 □%		
継続	家庭学習	全生徒	毎日 強化週間 定期考査 前 4 回	家庭学習ノートを自校作成 担任が毎日点検 1, 2, 3 年 2 ページ	提出状況 ノートの内容	提出状況 100%			
継続・ 新規	ICT の 活用	全教員 全生徒	年間随時	授業の振り返りにおいて各 自の PC を使用し、教員と生 徒かつ生徒間の情報共有を する	週案への記入	単元の終わりの 振り返りにて PC 使用率 100%			
				放課後補充教室での AI ドリ ルの活用	AI ドリルの使 用率	正答率 65%	正答率□%		

重点的な取組事項－2		小中連携を中心とした地域に根ざした教育活動の実践			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携事業とともに、地域行事に積極的に参加し、郷土愛の心を育成する。		小中連携をとおして、円滑な接続を図る。 地域行事への参加率を高める			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
地域への貢献	「地域の行事に参加している」60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動等への参加（消火隊、地域行事、地域清掃、吹奏楽演奏会等）</li> <li>生徒会を中心にボランティアを募り、地域清掃を行う。</li> </ul>	「地域の行事に参加している」 □%		
交流活動の充実	児童・生徒交流5回以上 新入生2学級確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動体験（小6）</li> <li>運動会への小学生参加（小6）</li> <li>合唱コン練習小学生見学会（小6）</li> <li>合同百人一首大会（小5・中1）</li> <li>小学校サマースクールへアシスタントティーチャーの派遣</li> </ul>			
授業以外の学力向上対策	百人一首合同練習会実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>百人一首合同練習会</li> </ul>			

重点的な取組事項－3		生徒による主体的な活動の推進・キャリア教育の促進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が自分たちで学校を良くしようとする意識（愛校心）と自己肯定感を高める。キャリア教育に関わる取組をとおして、将来や今の自己の生き方について考え・表現できる生徒を育成する。		「学校に行くのが楽しい」75% 「大人になったときの夢や目標がある」70%	「学校に行くのが楽しい」□% 「大人になったときの夢や目標がある」□%		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自尊感情を育む実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分にはよいところがある」65%</li> <li>「あじみこしを意識して生活している」80%</li> <li>各種表彰並びに掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中連携において教師が前向きなコーチングについて学ぶ</li> <li>生徒会が主催の「あじみこし」キャンペーンの実施</li> <li>大会等上位入賞者の表彰や掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分にはよいところがある」□%</li> <li>「あじみこしを意識して生活している」□%</li> </ul>		
意志決定能力・キャリアプラン能力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場訪問1年、職場体験2年の実施</li> <li>夢デザインシートの活用</li> <li>「自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい」80%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場訪問1年</li> <li>職場体験2年 2日間</li> <li>高校の先生の話聞く会</li> <li>卒業生の話聞く会</li> <li>職業人の話聞く会</li> <li>夢デザインシートの活用</li> <li>授業において将来とのつながりを意識させる</li> <li>三者面談において将来の夢の話をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の好きな仕事につけるよう、勉強したい」□%</li> </ul>		
コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>「グループ活動やペア活動で話し合ったり、発表したりすることは好きだ」70%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教科で言語活動を取り入れた工夫した授業の実施</li> <li>プレゼンテーションソフトを活用した発表の充実</li> <li>生徒会朝礼の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「グループ活動やペア活動で、話し合ったり、発表したりすることは好きだ」□%</li> </ul>		
生徒会、委員会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>「行事・部活動に積極的に取り組んだ」85%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒実行委員会を中心とした行事の運営や生徒会、委員会の主体的な活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「行事・部活動に積極的に取り組んだ」□%</li> </ul>		

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）